（様式１－５）

### ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いる研究終了報告届出書

　　年　　月　　日

　こども家庭庁長官　殿

　文部科学大臣　殿

　厚生労働大臣　殿　※厚生労働大臣は、遺伝性又は先天性疾患研究の場合のみ該当

○○法人○○大学

学長　○○　○○

ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いる研究の終了について、研究責任者から研究終了報告書の提出を受けたので、ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いる研究に関する倫理指針【第５章第４の（２）】【第６章第２において準用する第５章第４の（２）】（※いずれか該当するものを記載）の規定により、当該報告書の写しを別紙のとおり提出します。

（記載要領）

・申請書の最終版の正式な提出にあたり、押印は不要。ただし、機関の手続上押印が必要な場合は、押印を妨げない。

（なお、こども家庭庁、文部科学省及び厚生労働省における申請書の事前チェック後、最終版を提出する際、押印をしない場合は、申請書１枚目の右上に朱書き枠囲い（18ポイント以上）で正本と明記の上、メールでファイルを提出すること。押印をする場合は、押印した書類の原本を郵送すること（正本の表記は不要）。）

・ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いた研究のうち、当該ヒト受精胚を用いた　ヒトＥＳ細胞の作成及び使用を行わない場合は第５章第４の（２）に該当、当該ヒト受精胚を用いたヒトＥＳ細胞の作成及び使用を行う場合は第６章第２において準用する第５章第４の（２）に該当。

（様式１－５別紙）

### ヒト受精胚に遺伝情報改変技術等を用いる研究終了報告書

（１）研究計画の名称

|  |
| --- |
|  |

（２）研究機関の名称及びその所在地並びに研究機関の長の氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究機関の名称 | | （記載例）  ○○大学○○学部 |
| 所在地 | | （記載例）  〒×××－××××  ○○県○○市○○３－２ |
| 研究機関の長 | ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| 職名 | （記載例）  国立大学法人○○大学　学長、○○法人　理事長　など |
| 研究機関の長  の代行者 | ふりがな |  |
| 氏名 | （記載要領：代行者を選任している場合は記載。） |
| 職名 | （記載例）  国立大学法人○○大学○○学部長、○○法人○○病院　病院長　など |

（３）研究責任者の氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究責任者 | ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| 所属部署 |  |
| 職名 |  |

（４）研究の結果

|  |
| --- |
| （記載要領：研究計画の達成状況及び成果等について記載。研究成果について、論文発表をした場合は概要を記載の上、当該論文を添付。ヒトＥＳ細胞の作成及び使用を行った場合は、当該研究結果についても同様に記載すること。）  （記載例）  本研究は○○を目的として、・・・を行った。ヒト受精胚は○個を使用し、全て解析に供した。解析の結果、○○という結果が得られた。本研究成果は以下の論文にて発表した。  　＜論文＞  １．著者名、論文名、雑誌名、日付  概要：○○ |

（５）研究に用いたヒト受精胚の廃棄の状況

|  |
| --- |
| （記載要領：研究終了後のヒト受精胚の廃棄の状況として、研究に用いた数量、研究を終了したとき又はヒト受精胚の取扱期間を経過したときの廃棄の状況等を記載。ヒトＥＳ細胞の作成及び使用を行った場合は、当該ヒトＥＳ細胞（当該ヒトＥＳ細胞が分化することにより、その性質を有しなくなった細胞を含む。）の廃棄の状況についても同様に記載。） |

（６）事務担当者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事務担当者 | ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| 職名 |  |
| 連絡先 | （記載要領：法人等の代表ではなく、実務担当者の連絡先を記載。）  （記載例）  〒×××-××××  ○○県○○市○－○  ＴＥＬ：××－××－××  ＭＡＩＬ：××＠××.jp |